

平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立木本小学校
作成日	平成29年 3月 8日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子を育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> • これからの学校の役割が、子どもを育てる以外に地域の拠点となるよう求められている。 • 給食交流会やありがとうフェスティバルは継続してほしい。 • 開かれた学校とは何か。どこに焦点を置くのかを明確にする必要がある。 • 地域への配慮は出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 道徳教育については、片寄った思想にならないように開示することも開かれた学校になる。 • 豊かな心＝思いやり • 人権参観では、子どもたちは授業に集中し、それぞれの学年に応じた内容が身につけていると感じた。 • 清掃活動等で、役割をしっかりとせ、家庭・学校で自ら進んで動ける子どもを育てる • 情報に流されやすい時代なので、まず、隣の人と仲良くなることの大切さや難しさを伝えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 体験学習は、確実に子どもたちの記憶に残りやすく、体で感じる事ができ、素晴らしいと思う。 • 基礎学力の定着を大切に、学校でも家庭でも学習を指導してほしい。 • 基礎学力アップには、「読書」と「本読み」「計算」が大切であると思います。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> • 取り組みの周知を関係者すべてが共有することが大切。学校長や育友会長の発言が委員会で止まっているのでは • 積極的に保護者・地域と関わっていると思う。 • 給食交流会等で、地域と学校・保護者が話し合う機会ができた。今後も交流の場をたくさん作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • あいさつ運動は大切な取り組みの一つだと思う。コミュニケーション能力が低下している世の中なので、取り戻していきたい • 笑顔であいさつができるだけで全てがうまくいこうと思う。それが一番難しいとも思う • あいさつ運動の充実により、自ら挨拶する子が増えたように思う。早寝・早起き・朝ご飯、良い習慣作りを継続してほしい。 • いじめ・不登校委員会の取り組みが十分なのか判断できない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 国語は大変重要な教科だと思うので、集中できる15分の「のびっこタイム」の活用期待できる。 • 国語力はすべての教科で重要であると思うので、木本の伝統になるくらい本読み等に力を入れてほしい。 • 学力調査の結果を保護者や子どもたちに分かりやすく提示してほしい。 • 学力調査により判明した学力差をどう改善していくのかわかりにくい。 • 学校は、学年で必要な学力がついているか判断し、児童・保護者に伝える。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の方をどんどん巻き込み、生活科の遊びの指導等、学校の要望に協力したい。 • 各行事に、保護者や地域の方の参加や協力を得られるようになればいいと思う。 • 学校関係者が交流しているのはよいが、収集した意見や情報を生かしているか検証する。 • 学校・地域・保護者のバランスのとれた情報提供を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 規則正しい生活とあいさつ等の基本が身につけてきているように思う。 • 素直な心があるからこそ元気大作戦により、ますます規則正しい生活が送れるようになって感じた。 • 成果を求めるためには、保護者が自らのこととして取り組まないと上がらない。 • ひとの心の痛みが分かるには児童の心に訴える工夫が必要(詩・物語等) • 学校評価の質問項目は毎年同じだと考えずに回答してしまうことがあるので、1つか2つ変えた方がいいのではと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「家庭学習のすすめ」の配付により、成果が出ているとの事。漢字・四則計算などの基礎学力の向上を望みます。 • 「時分の意見を発表する」というのは大きな課題であり、将来必ず役に立つので、グループ活動等、数多くの体験が自信につながると思う。 • 自分の考えを発表できると考えている子が6割しかないのは気になる。 • 発表できるようになるのは、いろいろな知識や知恵がたまっていなくて出すにもだせないと思う。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> • 世代を超えた交流の下、地域清掃活動や行事等を増やしていき、コミュニケーションをとり、地域の安全にもつなげていきたい。 • 地域への情報開示には広報紙「みらい」で協力できる。 • 学運営協議会は発足の趣旨を正しく理解するため、議論を重ねる。 • H. P. が保護者にあまり周知されていないように思う。 • 先生方が本来の教育に集中できるための組織になればいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • あいさつ運動に保護者も参加できればいいと思う。 • あいさつ運動・マナー指導等は地域と保護者が協力しあい、家庭でも話してもらい、町全体で取り組みたい。 • いじめ不登校の問題は開示が難しいと思うが、ルールを決めて、民生委員会に打ち明けてもよいのではないかと。 • 同じ教室の中で苦手な人とも友達としてうまくやっていくことが平和につながることで、一人でもできることだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 朗読コンテスト等、木本オリジナルの国語に関した楽しいイベントがあればきっかけになったりしないでしょうか。 • 学習環境改善を保護者に啓発する。勉強の時間にテレビを見ない、空間の確保等。 • 学力向上のために低学年のうちから家庭学習に力をいれることの大切さを保護者に説明する。 • 国語の力を高めることで、他の教科への影響もかなりあるため、読書の時間の確保から読解力をつけていきたい。

3 その他のご意見

・語彙の少なさや正しい漢字の使い方、算数の解き方・説明の仕方等、全て衰えていると将来苦勞すると思うので、読書等に力を入れて、地域でも協力できることはやっていきたい。
 ・平和学習について、70年たった今でも当時の苦しみや悲しみを抱えている人がいます。日本では、「戦争」といえば「第2次世界大戦」ということになる。70年間戦争をしてこなかったということにもなるが、どちらも重い70年間。そういうことを伝えられたらと思う。
 ・教育目標に「心身ともにたくましく」と掲げているが体力には触れていない。
 ・参観後の学級懇談会は廃止してはどうか。
 ・学校長以外の教職員の姿が見えない。学校を評価するには必要。

